

令和5年度 第3回SJAC講演会を開催

(一社)日本航空宇宙工業会(SJAC)は、令和5年(2023年)11月21日(火)にデータ運用についての国際的な標準基盤である「Sシリーズ」について概要を説明する令和5年度第3回SJAC講演会をハイブリッド方式で開催した。

1. 講演会の背景

航空機の国際共同開発においては、欧米企業との共同事業の推進やインターフェースのために国際的な標準基盤に基づいた運用が、効率的でありかつ相手先からも求められる。近年では、データ運用についての国際的な標準基盤である“Sシリーズ”が注目されている。そこで、ASD(欧州航空宇宙工業会)とAIA(米国航空宇宙工業会)が主導して作成した防衛装備品等の統合製品支援の国際規格Sシリーズの日本への導入につき理解を深める機会を設けることとした。



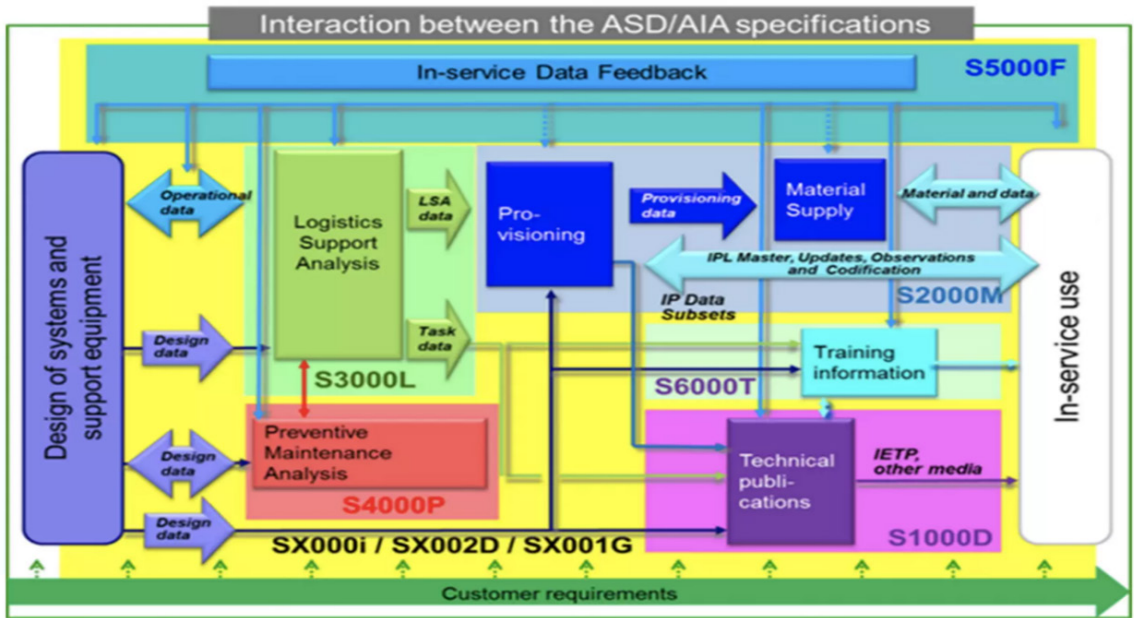
講演会冒頭で挨拶を行うSJAC佐藤常務理事

2. 講演会の概要

まずは「Sシリーズの概要」と題して、当会国際部部長の羽中田より説明をおこなった。具体的には、Sシリーズ立上げの経緯として、1990年代に北大西洋条約機構(NATO)において相互運用が可能なデータ交換を行う統合的な仕様の構築を目指して始まったことが紹介された。次に下記図表にあるSシリーズを構成する7つのブロックと各ブロックの概要につき説明があり、ガバナンスの仕組みとしてASDとAIAを中心とした評議会(Council)と運営委員会(Steering Committee)の説明が行われた。

当会はASDやAIAとともに構成する国際的な航空宇宙工業会(ICCAIA)での活動を通じた関係を生かし、運営委員会の議長(Chairperson)からの招待を得て、9月に開催された個別ブロックの運営委員会に三菱重工業殿から参加いただいた。今回の講演会の機会に三菱重工業殿からもお話いただいた。

当日は会場に約30名、WEBに約185名の参加があっただけでなく、今回は防衛省関連部門の方々にも会場に同席していただき開催したこともあり、会場では積極的な質疑が行われた。



Sシリーズの全体図（ASD資料より）

3. おわりに
 参加者へ講演会終了後にアンケートを募
 り、今後のSシリーズの活動について貴重な

コメントをいただいた。今後の活動に活かし
 ていきたい。

〔（一社）日本航空宇宙工業会 技術部部长 林 潤一〕
 国際部部长 羽中田 実〕